

当局の局長が朝倉市長を表敬訪問し 総務大臣メッセージを説明

平成 30 年 5 月 21 日、当局の佐藤裁也局長が、平成 29 年 7 月九州北部豪雨による被害の大きかった朝倉市の林裕二市長を表敬訪問し、朝倉市担当の行政相談委員 3 人と一緒に市の復旧・復興に向けた取組状況をお聞きしました。

佐藤局長からは、全国の都道府県で開催する行政相談委員全体会議で披露する行政相談委員への総務大臣メッセージにおいて、九州北部豪雨の際に自らが被災されながら、特別行政相談所を開設して被災者や避難者の方々の困りごとに丁寧に対応された朝倉市担当の行政相談委員のことが取り上げられていることをお伝えしました（別添参照）。



写真の説明：左から泉委員、林市長、井手委員、佐藤局長、江藤委員

林裕二朝倉市長のお話（要旨）

朝倉市の 3 人の行政相談委員の日頃からの高い見識に基づく活動には大変感謝しております。特に井手委員におかれては、先の九州北部豪雨において自宅を失うなど被災されながらも相談活動を行われたと聞いており、通常では考えられない対応に頭が下がる思いです。

当市では、現在、ハード面とソフト面の両方において課題が山積しておりますが、市の職員全員が一丸となって復旧・復興事業に鋭意取り組んでまいりますので、行政評価局及び行政相談委員の皆様の引き続きのお力添えをお願いいたします。



（連絡先）

行政相談課長 内田 善雄

電話：092 - 431 - 7082



行政相談委員の皆様へのメッセージ

総務大臣の野田聖子です。行政相談委員全体会議の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

行政相談委員制度が昭和 36 年に導入されて以来、行政相談委員の皆様には、日頃から、国民と行政を結ぶ「懸け橋」として地域の様々な困りごとを受け付け、解決の促進を図り、行政の制度・運営の改善に結びつく素晴らしい成果を挙げていただいています。

また、大規模災害の発生時には、被災された方々からの相談に精力的にご対応いただいております。昨年発生した九州北部豪雨の際にも、委員自らが被災されながら、特別行政相談所を開設して被災者や避難者の方々の困りごとに丁寧にご対応いただきました。

このような行政相談委員の皆様の日頃からのご尽力に心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

総務省では、性別や世代を超えて、全ての人々が力を合わせて幸せに暮らしていける、「落ち着いて、やさしく、持続可能な社会」の実現に向け、政策を推進しています。

こうした社会を実現していくためには、地域の声、住民の声によく耳を傾け、きめ細やかに対応していくことが重要であり、地域の方々の身近な相談役として、様々な困りごとの解決に向けて、日々活躍しておられる行政相談委員の皆様には、これからも大きな役割を担っていただきたいと考えています。

今後とも、行政相談委員の皆様と私ども総務省職員との連携を密にして、協働を推進することにより、行政相談委員制度を更に発展させてまいりましょう。

皆様のご活躍を、総務省としても全力でお支えしてまいります。

結びに、行政相談委員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成 30 年 5 月 14 日
総 務 大 臣

野田聖子